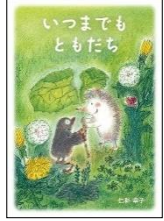
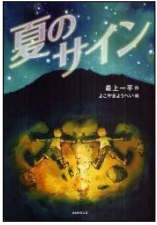
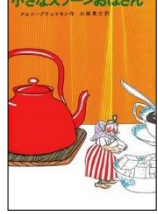
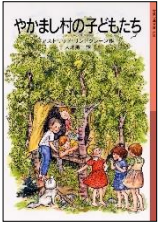
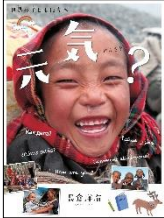


『クジラがしんだら』 江口 絵里／文　かわさき しゅんいち／絵 童心社　Eド ある日、深く暗い海の底に、一生を終えたマッコウクジラがしずんできました。その体は、生きものたちの食べものとなり、海の底で命をつなぎます。深海の生きものたちの物語。 	『たい焼き総選挙』 新井 けいこ／作 あかね書房　913.67 商店街のたい焼き屋さんをピンチから救うため、拓都は仲間と一緒にぎょうざたい焼きを売ることにしました。ぎょうざたい焼きは店の人気メニューになれるのでしょうか。 	『海をわたる動物園』 いちかわ けいこ／作 アリス館　913.64 大学生のシュンは偶然アフリカから日本へ動物を運ぶ船に乗り合わせる。戦争でからっぽになった動物園を元に戻すため、苦難を乗り越えた実話を基にしたお話。 	『ぼくは気の小さいサメ次郎といひます』 岩佐 めぐみ／作 偕成社　913.64 顔がこわいので友達ができないサメ次郎は、ラッコのプカプカさんの手紙を拾います。どうしてもプカプカさんと友だちになりたいサメ次郎は手紙を書くことにしました。 	『人魚の夏』 嘉成 晴香／作 あかね書房　913.6カ 新学期、男子にも女子にも見える、海野夏という転校生がやって来た。夏は知里だけに自分の秘密を教える。知里は夏の秘密を守り抜くことができるのか？ 	『ふたりはとっても本がすき！』 如月 かずさ／作 小峰書店　913.6キ チータのチッタちゃんとカバのピッポくんは本を読むのが大好き。でも読み方がちょっと違う二人。それぞれの良さを本を通して認めて、友情を深める物語。 
『夏のジオラマ』 小路 幸也／作 集英社　913シ 学校でいっしょに自由研究をしていた友だちのマンタが消えた。その直後、ぼくは理科準備室で古いジオラマを発見する。不思議な出来事を体験する夏の冒険物語。 	『となりのじいちゃんかんさつにっき』 ななもり さちこ／作 理論社　913.6ナ ようたは夏休みの宿題のあさがおを枯らしてしまい、となりのおじいさんの家のあさがおを観察することにした。観察していると、おじいさんのことも気になってきた。 	小学校中学年向け 司書からの 夏のおすすめ本 2025 草津市立図書館 		『いつまでもともだち』 仁科 幸子／著 偕成社　913.6ニ ひとりぼっちのハリネズミにはじめてできたともだちは、モグラでした。ふたりはいっしょにいると、いつもの世界がもっとすてきになることに気づきます。 	『ゴロゴロヤマネコ不動産』 なんだかあやしいおすすめ物件 藤重 ヒカル／作 福音館書店　913.6フ ぴったりの物件を紹介してもらった人たち。ところが、お店を開くと、おかしいお客ばかりがやってくる。いったいどんなお客が来るのかな。 
『青空モーオー！』 堀米 薫／作 学研プラス　913.6ホ 夏休み、いとこが働く牧場に行った陸は、近くで見る牛たちの迫力にドキドキ。ある日お世を手伝っていると、子牛のリオのようすがおかしいのに気がつきます。 	『夏のサイン』 最上 一平／作 角川学芸出版　913モ つばさは、夏祭りで踊る獅子舞に身が入らない。友達が引越してしまうからだ。そして友達と過ごす最後の日の夜、よく遊びに行った山で2人はある約束をする。 	『ファールルの夏ものがたり』 マーガレット・J・アンダーソン／作 くもん出版　9337 助手として父ファールルの研究を手伝い、共に虫に魅了されたポール。息子の目を通して描く「ファールル昆虫記」誕生のお話。今日はどんな虫に出あえるかな？ 	『子ねずみウォルターはのんびりや』 マージョリー・フラック／作・絵 徳間書店　933.77 14ひき家族の子ねずみのウォルターは、何をするのもゆっくりのんびり。ある日、気づかれずにひっこしにおいて行かれてしまいました。ウォルターは家族をさがしに出かけることにします。 	『小さなスプーンおばさん』 アルフ＝プリヨイセン／作 学研プラス　949.637° スプーンおばさんは、ときどき体が小さくなってしまふ。けれど少しも気にせず、どんなピンチもちえとくふうでうまく切りぬけていく。ふしぎでゆかいな物語。 	『やかまし村の子どもたち』 アストリッド・リンドグレン／作 岩波書店　949.83リ やかまし村には3軒の家があり、子どもは女の子と男の子が3人ずつ、みんなで6人います。けんかしたり、あそんだり、毎日ときどきたのしいことでいっぱいです。 
『世界中からいただきます！』 中山 茂大／文 偕成社　383.8 世界のいろいろな国の家におじゃまして、ごちそうになったごはんをしようかいしています。日本とはちがう台所のようす、材料や食べ方をのぞいて文化のちがいを感じてみよう！ 	『元気？ 世界の子どもたちへ』 長倉 洋海／著 朝日新聞出版　384.5 「元気？」と笑顔で声をかけながら、さまざまな子どもたちの表情を撮り続けてきた長倉さん。その写真と言葉を通じて、君と同じ世界で生きる子どもたちに出会おう。 	『生きものをつながる石ころ探検』 盛口 満／文・絵 少年写真新聞社　458 どこにでもある石ころ。石をつくる生きものや死んで石になる生きもの。石から砂になったり、時には食べられる石もある。石といてもたくさんの種類があるよ。 	『すごい！ミミックメーカー』 ノードストロム／文 西村書店　504 ミミックメーカーとは、自然のすぐれたところをまねして発明することです。観察したり、しくみを考えたりして、何を発明したのでしょうか。 	『飼いたいペットのえらびかた』 成美堂出版編集部／編著 成美堂出版　645.9 ペットを飼ってみたい！でもどんな生き物がいるのかな？お世話をどうするかも知りたいな。26種類の生き物から、ぴったりのペットを探してみよう。 	『ひろい海にぼくたちは生きている』 長倉 洋海／作 アリス館　748 広い世界には海とともに生きる人々がいます。小さな舟での水上生活、自給自足の島、様々な民族がすむ島。三つの海に探す人々取材した写真絵本です。 